

平成 15 年度の業績見通しについて

当社の平成 15 年度の業績見通しにつき、最新の状況を反映し下記の通り修正致します。

記

1. 平成 15 年度中間期(平成 15 年 4 月 1 日～平成 15 年 9 月 30 日)決算見通し

連結

単独

(単位:億円)

(単位:億円)

	平成 15 年度 中間期 決算見通し	平成 14 年度 中間期 決算実績	増 減
受注高	12,335	8,105	4,230
売上高	10,000	10,901	901
営業損益	105	265	160
経常損益	94	25	120
特別損益	20	7	28
税引前損益	114	33	148
当期損益	104	6	110

	平成 15 年度 中間期 決算見通し	平成 14 年度 中間期 決算実績	増 減
受注高	10,019	5,967	4,051
売上高	7,873	8,901	1,028
営業損益	87	206	294
経常損益	238	33	205
特別損益	20	18	38
税引前損益	259	15	244
当期損益	168	8	159

(内容についての補足)

- (1)営業損益：売上高の減少(連結 901 億円、単独 1,028 億円)を主要因として、営業損益は連結で前年同期を 160 億円下回る 105 億円、単独では 294 億円下回る 87 億円(営業損失)を計上する見込みであります。
- (2)経常損益：対米為替相場を中心に、中間期末にかけて為替レートが急激に円高に推移したことにより、営業外損失として為替差損(連結 139 億円、単独 135 億円)を計上します。これらの結果、当中間期は連結・単独とも経常損失(連結 94 億円、単独 238 億円)を計上する見込みであります。
- (3)当期損益：上記経常損失に加え、事業改善・再構築に係る特別対策費 20 億円を特別損失に計上した結果、当期損益は、連結で 104 億円、単独で 168 億円の損失を計上する見込みであります。

2.平成15年度通期(平成15年4月1日～平成16年3月31日)業績見通し

連結

(単位:億円)

	最新見通し (@¥110/\$)	前回見通し (@¥120/\$)	増減
受注高	27,000	27,000	0
売上高	24,000	24,000	0
営業損益	690	850	160
経常損益	300	600	300
税引前損益	300	600	300
当年度損益	150	350	200

単独

(単位:億円)

	最新見通し (@¥110/\$)	前回見通し (@¥120/\$)	増減
受注高	22,000	22,000	0
売上高	19,000	19,000	0
営業損益	410	670	260
経常損益	100	500	400
税引前損益	100	500	400
当年度損益	50	300	250

1株当たりの配当金(予定)

中間3円, 期末3円, 合計年間6円

(主な増減要因)

(1)前提為替レートの変更による影響額について

- ・実勢の対米為替相場水準に合わせ、業績見通しの前提となる下半期の為替レートを前回見通しの120円/\$から110円/\$に変更しております。為替レートの変更により、連結・単独とも営業損益で180億円、営業外損益を含む経常損益で320億円の利益減少の影響を受ける見込みであります。

(2)連結/単独の通期業績見通しについて

【連結業績】上記(1)の前提為替レートの変更による影響額のほか、

営業費用の減少(利益増加)20億円を見込み、営業利益は160億円減少の690億円、経常利益は300億円減少の300億円、当年度利益は200億円減少の150億円となる見通しであります。

【単独業績】上記(1)の前提為替レートの変更による影響額のほか、

営業費用の増加(利益減少)80億円を見込み、営業利益は260億円減少の410億円、経常利益は400億円減少の100億円、当年度利益は250億円減少の50億円となる見通しであります。

<注意事項>

今回の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績は異なる可能性があることを御承知おきください。

<御参考>

尚、中間期決算実績(連結・単独)、及び通期業績見通し(連結・単独)の詳細内容については、11月6日(木)にあらためて発表させて頂く予定です。

以上